

第21期 国立市社会教育委員の会（第13回定例会）会議要旨

平成28年5月24日（火）

[参加者] 柳田、牧野、坂上、川延、田中、佐伯、中野、倉持

[事務局] 津田、井田、藤田

柳田議長 こんにちは。連日30度を超える非常に暑い日が続いておりますが、皆様、体調は崩してないでしょうか。本日は、太田委員、間瀬委員が欠席との連絡を受けております。

それでは、これより第13回定例会を開催させていただきます。

まず、本日の資料の確認を事務局からお願いします。

事務局 では、資料の確認をさせていただきます。

まず、本日第13回定例会の次第と、資料1といたしましてA4を横に使ったヒアリング等についてと左上に書かれておりますものです。それと、文字がちょっと小さいですが、資料2と書かれております国立市生涯学習に関わる課題について、皆様のご意見を反映した資料でございます。それと、その他資料といたしまして、前回の議事録、公民館だより、図書室月報を机の上に置かせていただいておりますが、漏れはございますでしょうか。よろしいでしょうか。

柳田議長 ありがとうございます。

本日の議題ですが、2件ございます。1件目はヒアリング等について、2件目は生涯学習振興・推進計画に関わる課題についてとなっております。

議題にありますヒアリング等についてですけれども、今後のスケジュールがございまして、ヒアリング等の実施方法については本日決定する必要がございます。前回の皆様のご意見をもとに、アンケートとヒアリングの両方を実施することを前提とした議長案を作成させていただきました。ただし、この案は、委員の皆様には大きな負担を強いることになることをご了承いただきたいと思っております。

それでは、議長案につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 それでは、資料1、ヒアリング等についてと書かれている資料をお手元にご用意いただきまして、ご説明させていただきます。

今、議長からお話がありましたとおり、前回のご意見の中でヒアリング、アンケートをともに実施したいといったご意見を頂戴したと思っておりますので、議長案といたしまして、両方実施する案ということで説明させていただきます。

まず、アンケートから先に説明させていただきます。一番左の列の日程と、真ん中の列のアンケートのあたりを主にござんいただきながら説明を聞いていただければと思っております。

まず、13回の本日の定例会では、アンケートを実施することになった場合には、アンケートの実施方法につきましては、各委員がアンケートをお願いできる団体、委員の選出母体であったり、それ以外付き合いのある団体であったり、また個人でも可とさせていただきますけれども、そういった団体なり個人に1委員5団体以内にアンケートを各自お渡しいただきまして、各自で回収していただきまして、分析をしていただき、会議の中で報告をいただきたいというアンケートの実施方法となっております。細かいところは表に沿って説明させていただきます。

本日なのですけれども、アンケートを実施することになりましたら、アンケートの送付先について、本日の会議で、ある程度この団体に送りたいということをお申し出いただきたいと思っております。ただ、本日すぐにアンケートの送付先というのは難しい可能性もありますので、その場合は6月4日までに、事務局のほうにアンケートの送付先についてご報告をいただきたいと思っております。

各委員のアンケートの送付ですけれども、個人も含まれますので、1委員5団体か、もしくは委員ということになりますけれども、以内に絞らせていただきましたのは、個人の方ですと、例えばメーリングリストでわっと一斉に送ったりすることができるかと思うのですけれども、なるべく団体の方に送っていただきたいです。例えば委員間でアンケートの数に大きな差が出てしまってもというところもございしますので、1委員5団体以内とさせていただきます。

また、本日の会議の中で、この後ご説明させていただきますアンケートの項目についても確定をさせていただきたいと思っております。

明日以降の流れになりますけれども、次の欄へいきまして、5月25日から6月4日まででございしますが、まず各委員からアンケートを配付する団体に事前の協力依頼をお願いいたします。こちらにつきましては直接手渡しでアンケートをお渡しする際は特に必要なのですけれども、メールなり郵便で送る場合に突然送られてきてというところも、付き合いのある団体なので、ある程度コンタクトはとれるかと思うのですけれども、ただ、突然送られてきてもというところがございしますので、6月4日までの間に事前に口頭で打診をお願いしたいと思っております。

ただ、送付については、手渡し、メール、郵送でお願いしたいと思っております。ただ、郵送につきましては郵送代がかかってしまいますので、郵送の場合については市から送付させていただきたいと思っておりますので、6月4日までの間に郵送する団体につきましては、あわせて市のほうにご報告いただければと考えております。

6月8日までの間に、市からアンケート用紙であったり、アンケートに同封していただく、本日ご議論いただきます国立市の生涯学習に関わる課題についてまとめたもの、依頼文などについてメールなりで提供させていただきますので、6月8日以降なるべく早くということをお願いいたします。各団体や個人の方へできればメールか手渡しで、またアドレスがない場合には郵送で依頼というのは市から送るようになりますけれども、依頼をしていただければと考えております。

来月の6月28日の定例会ですけれども、アンケートの実施状況の報告等がございしますが、こちらについては、こういった団体に送ったというぐらいの報告をお願いしたいと思っております。

各委員にアンケートの分析をいただきますので、6月28日の会議の中でこういった形で分析をお願いしたいということで、事務局から方針をご提示したいと考えております。

ページをめくりまして2ページ目になりますけれども、6月8日からお願いをしますアンケートですけれども、約1カ月間アンケート期間を設けまして、7月8日を締め切りと定めさせていただきます。8日までに各委員の手元に回収していただいて、それから約1カ月間、8月8日までの間にアンケートのデータ化であったり分析についてお願いしまして、その結果について事務局にご報告いただきたいと考えております。

7月26日の会議ではアンケートの状況の報告等ございしますが、この時点ではアンケートが何通集まったですとか、そういった簡単な報告のお願いで

す。実際の8月23日の定例会では、アンケートを分析した結果をご報告いただきたいと考えております。

続きまして、1ページに戻りまして、ヒアリングを実施する場合のヒアリングについて説明させていただきます。

まず、ヒアリングですけれども、本日の会議ではヒアリング先を2から3団体とさせていただいていますが、どういった団体にヒアリングするのかということをご議論いただきまして、決定していただきたいと考えております。

ヒアリングの方法ですけれども、日程案といたしまして、6月29日から7月15日の間の平日、土日、祝日の中で、委員の皆様とヒアリングする団体とで日程調整をさせていただいて、2、3団体ございますが、できれば1日に集約して実施できないかと考えているのですけれども、日程調整の中では2日にまたがってしまう可能性もあるのかなということで、ここには1日から2日と書かせていただいております。

時間ですけれども、午前9時から午後9時の間で1団体1時間程度、またそれを複数の団体、2団体同じ時間帯に来ていただくということでしたら、2時間程度になるかと思っておりますけれども、そういった形で、1団体なら1時間程度の時間を設けまして、ヒアリングを実施できればと考えております。

場所につきましては、市役所会議室などで実施したいと考えております。

相手方の人数ですけれども、代表者プラス会員数名程度かなということで、案としては考えております。

今後の流れでございますが、会議が終わりまして、あした以降6月10日までに、まずヒアリングの項目につきましては、委員様から個々の会議に先立ちまして、ヒアリングの質問項目についてご提出いただきまして、資料1の5ページにまとめさせていただいているところですけれども、例えば本日の会議でヒアリング先を具体的にここ、ここ、ここというふうに決定しましたら、例えばこの団体だったら、こういうことを聞いてみたいという追加の質問がございましたら、6月10日までの間に、追加の質問ということで事務局にお寄せいただきたいと考えております。また、6月10日までの間に事務局から発信しますけれども、各委員と各団体の日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、そのあたりはメールでご連絡させていただきます。

ヒアリングの実際のやり方につきましては、6月28日の会議の中でヒアリングの項目、当日の流れ、担当者について決めたいと考えております。

ページをめくりまして2ページ目へいきまして、実際のヒアリングは6月29日から7月15日の間のどこかで実施できればと考えております。

その後ですけれども、8月17日までの間にヒアリング記録の作成と結果の分析を各委員に分担してお願いいたしまして、事務局にご報告いただきたいと考えております。

ヒアリングの分析結果につきましても、アンケートと同様に、8月23日の定例会の中でご報告いただければと考えております。

ヒアリング、アンケート両方を実施するに当たっての案についての説明は以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。ただいま事務局よりご説明がありましたが、議長案はこのとおり、ヒアリング、アンケートの両方の実施を示させていただいております。

先ほども申し上げましたが、委員の皆様のご負担が非常に大きなものとなります。

なお、選択肢として、ヒアリング、アンケートの両方ではなく、アンケー

トの単独実施やヒアリングの単独実施も考えられるかと思います。アンケートの場合は、個人、団体問わず広く意見を集めることができる。ヒアリングの場合は、団体が抱える課題等の具体的な話を聞くことができるということです。アンケートとヒアリングの場合は、その双方ということで、時間と手間はかかりますが、さらに幅広く意見が聞き取れるのではないかということです。皆様、いかがでしょうか。

田中委員 すみません。ちょっと聞き漏らしたかもしれませんが、質問で、アンケートのところの1委員5団体以内にアンケートを送付すると書いてあるのですけれども、全体のアンケート数はどういうイメージですか。5掛ける5とか。

事務局 最大で10名委員がいらっしゃいますので、50団体なり50人なりが最大の数になってくる。

田中委員 5団体というのは、団体で1つという意味なのですね、そうしたら。団体の構成員を例えば50としますと、その50人からもらうのではなくて、1団体の代表者から1枚返ってくるというイメージですか。

事務局 個人の方もオーケーとしていますので、細かいことを言うと、個人として同じ団体の方に依頼するケースもあるので、できれば1団体からは1名でお願いしたいと考えております。

田中委員 ちょっと数が少ないと思うという印象でした。

柳田議長 本来でしたら、なるべく多くの方々にとりたいのですが、分析にはかなりの労力を強いるのではないかと考えております。また、1つの団体に集中してしまうと、その意見だけが反映されてしまうことも考えられるということで、なるべく幅広いところから同じ人数という形で、今回はとりたいと考えております。
いかがでしょうか。そのほか何かご意見等ございますでしょうか。

佐伯委員 ヒアリングのほうですけれども、団体を2から3に決定するのにどうやって決めるのですか。

柳田議長 この後、もしヒアリングとなった場合はご議論いただくかなと思っていたのですが、前回までの議論を踏まえると、市の職員の方であったり、PTAであったり、校長会であったり、公運審であったり、図書館協議会であったり、さまざまな団体があります。こちらの資料にも候補団体が載っていて、そこから選ぶことになるかと思います。

佐伯委員 アンケートだと、いろいろな意見が多分広く聞けるからいいですよ。ヒアリングだと二、三団体ということで、随分狭くなっている。深い話は聞けるかもしれないのですけれども、広い話は聞けない、固まった話が出てしまうのかなと思ったものですから。

柳田議長 ありがとうございます。確かにおっしゃるとおりかと思います。ただ、今回の諮問はあり方ということで、この会として答申することですので、スケジュールの都合上、限られた団体ではございますが、その中でできる限り

抽出できたらと考えております。

佐伯委員 わかりました。

柳田議長 その他ご意見等ないでしょうか。

今、議長案として示させていただいておりますヒアリング、アンケート両方の実施ということでご意見を伺っておりますが、どちらか単独とか、何かご意見ございますでしょうか。単独案についてご意見は出ておりませんので、今、私が示させていただきましたヒアリング、アンケート両方実施ということでお諮りしてよろしいでしょうか。アンケート、ヒアリング両方実施するということでよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 ありがとうございます。それでは、本会としては、アンケート、ヒアリング両方実施の方向で進めさせていただきます。ありがとうございます。

それでは、アンケート、ヒアリング、その方法ということになってきますが、まずヒアリングを実施するということで、ヒアリング先を二、三団体に決定したいということです。こちらについても本日決定を見たいということです。

それでは、資料1の3ページをごらんください。ここにはヒアリングの候補先ということで、以前の会議で委員の皆様から意見として出された団体がございます。この中でこれまでの議論を踏まえますと、市の職員の方、校長会、PTA、公民館運営審議会、図書館協議会あたりが有力ではないのかと私は考えています。ただ、ヒアリング先の候補につきましては、事前にメールで考えてきていただきたいとお願いしていますが、委員の皆様いかがでしょうか。

本日、間瀬委員はお休みですが、間瀬委員からは公運審からヒアリングをしたいと希望が出ていると連絡を受けています。理由としましては、委員の中に生涯学習に関心を持っており、お話をしたいという方がいるということです。いかがでしょうか。

川廷委員 図書館協議会については、アンケートのほうでは図書館協議会にアンケートという形でお願いしたいと思うのですがけれども、公民館運営審議会では社会教育、生涯学習等についていろいろと意見が出されているようではございますけれども、図書館については、生涯学習全体に対しての意見はアンケートで対応できるかと思っておりますので、2つか3つしかない枠を図書館協議会で使わないで、例えば私が考えたときに、福祉のことってすごく勉強することが多いので、福祉関係の団体とか、市の機関でヒアリングができたらいいかと思って、図書館協議会についてはヒアリングの対象としなくてもいいかと個人的に思っております。

柳田議長 ありがとうございます。生涯学習に深くかかわりがありそう団体や、職員の方にヒアリングを行ったほうがいいのではないかとのご意見ですね。

中野委員 私も先週、育成会の委員長会がありまして、ヒアリングという意味じゃなくて、アンケートの了承を得ました。でも、その団体から1名ということでしたので、私は全員にアンケートを依頼するつもりだったのですけれども、中の1名だけにアンケートを依頼するようにしますけれども、アンケートで

ヒアリングするという考えだったものですから、委員長会は1名だけアンケートということにしたいと思います。

柳田議長 ありがとうございます。そうしますと、二、三団体ということで、今出ているのが、間瀬委員からは公運審からヒアリングを行いたいということが出ております。本日太田先生はいらっしゃいませんが、市の職員の方からヒアリングをしたいというご意見もございましたが、あと福祉関係、さらにPTAとか保護者の方からもお伺いしたいというお話も出ておりました。

田中委員 消去法ですけれども、くにたちコラボはその下の中にあるNPO活動支援室を運営しているのですけれども、団体というよりは地域コラボに会員登録をしている方が個人と団体を含めて70、まちづくりや生涯学習にかかわっている方もいますし、福祉もいますし、農業にかかわっているとか、居場所づくりとか、いろいろと団体がいるのですけれども、それはアンケートでピックアップして対応しようと、中野さんと同じように思っております。

柳田議長 ありがとうございます。

事務局にお聞きしたいのですが、例えば市の職員となった場合は、複数の方に同時に来ていただくことは可能でしょうか。

事務局 そうですね。依頼をしまして、仕事の状況でどうなるかというところは正直あるのですけれども、例えば部署で皆様のご希望で、例えばそれこそ福祉関係とか、以前も話で出ました男女平等の関係ですとか、そういったお話が会議で出たかと思うのですけれども、そういったのを幾つか指定していただければ、担当部署の課長なり係長に声をかけさせていただいて、仕事の都合で大丈夫でしたらと考えています。

柳田議長 ありがとうございます。

事務局 ただ、福祉関係の部署といっても多くの課があるので、どの課ということをお伝えいただければ、その課に打診をしていきたいと思っております。

柳田議長 ありがとうございます。

そのほか何か、特にここの団体からヒアリングをしたほうがいいのではないかとこの団体はありますか。

佐伯委員 団体の種類のところを見ると、その他はアンケートで対応と今2人とも言っていたので、商工・農業のほうもアンケートで対応できるかなど。そうなると、団体の種類で、福祉が市だと学校関係からで、それで3つになりますよね、さっきの項目だと。そんな感じでもよろしいのではないのでしょうか。

柳田議長 今、佐伯委員からご提案がございました。4、5、6、7にあたるところで、13から18のところはアンケートで対応できるのでないかということで、社会教育施設関係団体からは公運審、学校・家庭関係から1つ、福祉関係から1つということでしょうか。例えば、学校関係というのがありましたけれども、保護者の方々にヒアリングに行ったり、来ていただくということは可能でしょうか。

牧野委員 小学校が8校、中学校3校ありますので、それぞれここの小学校、ここ

の中学校という限定であるとか、それとも呼びかけをして、手を挙げていただいたところにするのかというあたりのイメージが、自分もメールをいただいたときにわからなかった部分があったので、保護者の方には事前の確認をしていないので、これからのアクションの結果になると思います。

柳田議長 福祉関係ですと、社会福祉協議会にメールをするか、保護者等が無理なのであれば、市の職員ともう一つということになります。そうしますと公運審と社会福祉協議会、市の職員の方々でしょうか。

坂上委員 P T Aというのはあっていいのかなと思うのは、普通の人の感覚がわかるのではないか。もちろんP T Aの団体そのものは、子どもの福利厚生みたいなことを前提とされているのですけれども、その世代は子育てをしながら働き盛りであったり、そういう方たちの意識というのはちょっと聞いてみたい。逆に、ふだん生涯学習とあまりかかわりがないかもしれないのですけれども、むしろこれからの大きな課題はそういう方たちに参加をしていただくということもあるかと思しますので、個人的には残していただけたらと考えます。

柳田議長 ありがとうございます。今、坂上委員のお話からもありましたように、保護者から聞きたいという話はこれまでの会の中で出ていたかと思えます。そうしますと、どうやって来ていただくかということになる訳ですけど。

田中委員 昔のことなので、もう忘れちゃったのですけれども、各学校には保護者会がもちろんありますよね、団体としては。

牧野委員 それぞれ呼び方が違うのですが、P T Aだったり、自分の学校は教師と父母の会という名前だったりというものはございます。

田中委員 そうですね。いろいろな行事のこととか議論する会があると思うので、そこは多分、連絡先も、ネットワークの会をお持ちなので、そこに呼びかけをお願いして、参加できる方は来ていただだけませんかという形は可能ではないですか。

牧野委員 各学校の副校長が窓口になって、それぞれのP T Aだったり、そういう会に連絡することはできるかと思えます。

佐伯委員 横のつながりってないのですか。

牧野委員 横は、会長さんが連絡を取り合っていると思うのですが。

佐伯委員 正式にはない。

牧野委員 会長会というのがあります。

田中委員 では、会長会にご連絡をして下におろしていただいて、参加できるところはよろしくお願ひしますと。

牧野委員 委員タイムラグ的にどうかなというのがちょっと、時間的なところがどうかなというところがございます。

中野委員 この間、PTAの会長に聞きましたら、6月のいつって言っていましたかね、時間的にちょっとかかり過ぎるので、それはなしだなと思いましたね。

牧野委員 例えぼうちの学校の教師と父母の会の方にご相談をすれば、タイムリーにすぐできるかできないかという返事が来るのですが、11校に同じような形で回すときに、そこからまたPTAの中で話し合いをされて、するかしないかという返事が来て、さらにというところがあるので、そこが実はいただいたときにどんなものだろうかなというのを思ったところなのです。時間的な余裕があればというところはあるのですが。

あとは私のところを例えば選んだときに、なぜ自分の第八小学校なのかというところもおそらくあるだろうかなというところもあったり、自分が委員だからということはあるかもしれないのですが。あとは依頼したときに、これは大体1時間ぐらいの時間なのですが、ヒアリングの1時間をとっていただけに、場合によっては発信しなきゃいけないのですけれども、どうかなというところがあるので、時間がかかるな、時間が欲しいなというイメージがございます。

田中委員 もし時間があれば、小学校1校、あるいは中学校1校というふうにして、例えば2校だけを抽出してお願いするというのも可能であるのですけれども、先生のところは小学校または中学校1つでもいいのですが、もしそれが可能なら、それでもいいのかなと思います。

柳田議長 日程的には、6月10日ぐらいまでに受けてもらえるかどうか確認をとって、その後、日程調整ということになります。7月下旬ごろまでにヒアリングが終わる予定であるため、2カ月ぐらいあるということです。田中委員からご提案がございましたように、小学校、中学校それぞれ1校ずつピックアップしてということですが、先生は委員ということで、第八小学校のPTAにお願いすることは可能でしょうか。

牧野委員 あと、校長会の中でも、役員がいる学校にまずは優先的に行くような形で当たってみるということで、それがうまくヒットするかどうかというのはあれなのですが、させていただくということでもしよろしければ連絡をしてみたいと思いますけれども、皆様がそれでよろしいということであれば。

柳田議長 それでは、学校関係、保護者ということで、牧野先生からもお話がありました。まず、校長会で、受けてもらえるかどうかということも含めて聞いていただくということで、その結果を受けてということになるかと思いますが。

牧野委員 校長会で受けるということじゃなくて、校長会は連絡役ということで。

柳田議長 校長会を通してということですね。ありがとうございます。公運審と校長会を通してということで、学校関係が出ております。わかりました。あとは福祉と市の職員の方ですが、福祉、市の職員の両方をやりますと、4団体になってしまいますが、2団体から3団体ということですので、今回の課題をまとめるに当たって幅広い意見を伺いたいということですので、市の職員の方々にすると福祉が抜けてしまうことになってしまいますが。

田中委員 質問で、社会福祉協議会の中にはボランティアセンターがあり、デイケアセンターがあり、障害者センター、ごめんなさい。ちょっと市の事務局に質問です。

事務局 私もすみません、わかってないのです。

田中委員 なるほど。そこはすごくわかりますが、ボランティアセンターというのは社会福祉協議会の中にあるので、そこはちょっとつながっているのですけれども、多分、社会福社会館の2階にデイケアセンター、3月で終わって…。

事務局 シルバー人材センターでしょうか。

田中委員 シルバー人材センターもある。デイケアセンターは閉じたのでした、3月で。失礼しました。閉じていました。シルバー人材センターがありますね。社会福祉協議会というふうにもし振れば、その中にはさまざまな窓口はあると思います。

事務局 社会福祉協議会にどういう話を、例えば統括しているような方というのはなかなか難しいかなと。例えばボランティアセンターの担当の方といえ、そこの方に打診をとると思うのですけれども、こういう話をお伺いしたいというのがあれば出していただければ、そこの担当へ打診をとることになると思うのです。

田中委員 多分幾つかですよ。例えばボランティアセンターは職員2人しかいないので、課長を入れれば3かな。それぞれはそんなに大人数ではないので、それぞれの人たちに呼びかけていただくという、シルバー人材センターならシルバー人材センターにも、社会福祉協議会としてまとめてないとしても、あの中に入っているさまざまな部署があるので、そこにアプローチをすると。

柳田議長 事務局のほうはいかがでしょうか。それは可能かどうか。

事務局 福社会館内のいろいろな部署にというところですよ。

田中委員 福祉協議会の中の参加だと思っていたので、それが間違いでなければ、そういう意味です。

事務局 私も組織体制が隅までわかってなくて申し訳ないのですけど。

これから議論していくヒアリングの団体や、聞きたい内容によって、こういうのを示しながらということで、統括している課長なり、そういう形でのアプローチはできるかと思えます。先ほど来、市の職員でも福祉ってどの課と言っていますが、課まではなかなかわからないと思えますので、どんな内容とかどういう分野とか、そういう部分がよりわかれば、こちらのアプローチする側からもしやすいのかと思えます。来ていただけるという部分ですね。

柳田議長 ありがとうございます。そうしますと、社会福祉協議会の場合は打診することは可能ですか。

事務局 そうですね。社会福祉協議会に打診ということでしたら。

柳田議長 打診して、必要な方を集めていただいているということになりますか。

事務局 どういう形かは、ごめんなさい、組織体制がわかってないのでお答えできないのですが、社会福祉協議会に打診ということは。

柳田議長 打診をすると。わかりました。今の段階では公運審、保護者関係ということで校長会にお話をさせていただける、そして社会福祉協議会へということになります。市の職員の方はどのようにしますか。ぜひ聞いてみたいというご意見も前の会議でございましたけれども、もし特に課題としてこちらにのせるに当たって必要ないのであれば、やめてもいいのかと思いますけれど。

田中委員 聞く内容が多分違うと思うのです。団体に対するさまざまな質問と、それに対して、太田先生が言っていらっしゃったように全然違う質問事項になるかと思うので、外してもいいのかなど。今回に限りですけど。というふうに個人的には思っています。

柳田議長 いかがでしょうか。市の職員の方々は。もし市の職員の方にヒアリングを行う場合は、全く異なる質問項目を作成する必要があるため、今回に限っては外してもいいのではないかということですね。

倉持委員 私も今回は市の職員は、何を目的にするかによりますけれども、今3団体しか聞けないのであれば、ヒアリングとしてではなく、必要に応じて担当課の人に会議に来ていただくなり、あるいは行政の事務局間で情報交換をしていただくなりすれば十分かと思います。

柳田議長 わかりました。ありがとうございました。

いかがでしょうか。今までのご意見をまとめますと、1つは公運審で、2つ目は保護者ということで校長会に聞いていただくということ、3つ目は社会福祉協議会へということで、3団体ということになりますが、この3団体よろしいでしょうか。

佐伯委員 いいと思います。

柳田議長 ありがとうございます。それでは、ヒアリングにつきましては、この3団体ということで決定させていただきます。ありがとうございました。

それでは、ヒアリングで聞きたい内容と今後の流れですが、ヒアリングで聞きたい内容につきましては、委員の皆様より事前にご提出していただいたとおり、資料1の5ページ、縦になりますが、このとおりになっています。ただいまヒアリング先が決定したことを受けまして、3つの団体に対して、特に聞いてみたいことがございましたら、6月10日までに事務局へメールでご提出いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。事務局にて、委員の皆様の日程調整のための連絡を必ず以降メールすることになりますので、連絡がありましたら速やかにご返信をお願いいたします。

なお、ヒアリングの詳細につきましては、6月の定例会で確認をすることとなっております。

ここまでで何かご質問等ございますでしょうか。

坂上委員 質問項目が14あるのですが、団体を代表して答えなきやいけな

い質問というのは多分9番目ぐらいまでで、10番目以降について、これ団体の代表として答えろと言われると、なかなかあれなので、これは個人のお立場でお答えしていただいて結構ですみたいなことをつけてあげないと、答えるのを躊躇してしまうというか、答えづらくなるような気がするのですけれども、その辺はどうなのでしょう。

田中委員 ヒアリングと思わないで、アンケートは個人の人たちをイメージして、うちは特に団体は個人なので、その人たちが課題についてたどり着いてもらうための導入分みたいな質問を考えてしまいましたので、これだとヒアリングというよりは個人用のアンケートのイメージでした。だから、外していただいて結構です。

坂上委員 これはあったほうが、個人的にはおもしろいのじゃないかという気もするのですけれども、その辺はいかがなのでしょう。

柳田議長 特に保護者の方になった場合には、ここら辺は特に必要なところとなってくるのではないかと思います。必ずしも全て聞くということではなく、そのようなご意見も含めて、6月10日までにメールでご意見をいただけると助かります。ありがとうございます。ほか、よろしいでしょうか。

それでは、ただいまヒアリングについては終了しましたので、アンケートのほうに移りたいと思います。アンケート送付先のほうに提出ということになります。資料1の3ページを参考に、アンケート送付先を選出していきたいと思います。

先ほどの事務局の説明のとおりですが、1人5団体、個人も可ということ。この5団体以外で候補を挙げさせていただきたいと思います。現段階でアンケートを送付したい団体、個人についてありましたら、ご発言をお願いいたします。

中野委員 私は先ほど申しましたように、出身母体の育成会に先ほど1名と言いましたが2名で、あと近隣自治会の会長にも了承をとっていますので1名、市老連にも了解をとっていますので、これ1名ということにしたいと思います。

柳田議長 育成会と自治会と市老連ということですね。ありがとうございます。先ほど川廷委員は図書館協議会と。

川廷委員 はい。図書館協議会に、これは多分、会長さんにだと思っておりますけれども、お願いしたいと思って、まだはっきり確認はとれてないので、図書館の中で活動している音訳のボランティアとか、その他ボランティアの団体があったり、それからあと公民館の学習でシルバー学習室というのがある。そこを卒業した人たちの団体として心遊会というのがありますので、会員は全部で180人ぐらいいる団体で、いろいろなサークル等をやっていますので、その会の会長さんにも出してみたらどうかと今思っております。

柳田議長 ありがとうございます。図書館協議会とボランティア団体と、シルバー学習室を卒業された団体の会長さんですか。ありがとうございます。今すぐ出すのは難しいかと思っておりますけれども。

田中委員 くにたちコラボは団体の数が多いので、まちづくりにかかわっている人間環境キーステーションの学生を含めての団体があるので、そこが一番大き

なところで、そこと、それから役員、個人だったり団体代表だったりとかしますけれども、そこから2名。福祉は別にいるので、あと駄菓子やくにちゃんという土曜日に子どもの居場所づくりをしている、これはNPOじゃないですけれども、一般社団法人のお手伝いをする方たちがいらっしゃいますから、その方等々、所属している会員さんをお願いしようと思っています。

柳田議長 ありがとうございます。ただいま3団体ということですが。

田中委員 4です。くにたちコラボ、駄菓子やくにちゃん、地域コラボの役員が2人で、多分もう一つ、まちづくり系の団体をお願いしようと思っています。

柳田議長 ありがとうございます。そうしますと、現段階では今のような団体が出ていることとなりますが、まだお考えのところとは思いますが、6月4日まででしょうか。

事務局 6月4日までをお願いできればと思います。

牧野委員 校長会で一まとまりなので1名で、それからPTAは11校ありますけれども、これも一まとまりということであれば1名ということなので、あと私の任意ということであれば、この4月に転勤したばかりなので、今回、今のところにヒアリングをという形で考えているので、前任校のPTAなので、そんな話でいいのでしょうかねと思うのですが、よろしいですか。

柳田議長 ありがとうございます。

佐伯委員 私は推薦団体の民生委員、それと主任児童委員部会もあわせて聞いています。あと、商工会、農家ってどうなのでしょう。アンケートをしたほうがいいでしょうか。農業委員とかですね。

柳田議長 幅広くということですので、可能であれば聞いていただけたらと思います。

佐伯委員 そうしたら、商工会のほうと農業委員のほうは。

田中委員 農業委員とか青壮年部？

佐伯委員 生産部とか。団体はまた後で考えるとして、農家と商工には連絡します。

柳田議長 わかりました。まだまだこれからふえる可能性もございますので、本日出されました団体以外について送付したい場合は、先ほど申し上げましたが、事務局のほうに6月4日までにご連絡をください。

それでは、アンケート項目の確定に移りたいと思います。アンケート(案)につきましても、事務局と相談いたしまして、議長案を事前に考えてきております。

それでは、事務局よりご説明をお願いします。

事務局 資料1の5ページの次のページ、ページがかわってしまっていて1ページ、2ページ、3ページと書かれている資料が、議長案としてアンケート(案)を作成させていただいたものとなっております。こちらのアンケートにつきまし

ては、現時点で団体想定でつくっておりますが、この後、大変恐縮ですが、個人向けにも対応できるように少し表現は変更させていただきたいと思いますが、現時点でのアンケート（案）を説明させていただきます。

まず、団体の概要を把握したいということで、1番、団体についてという中で、団体の活動の目的、主な活動場所、団体の人数をお伺いしたいと思っております。

2番目といたしまして、まずこの質問の前提といたしまして、この後ご審議いただきます「国立市の生涯学習に関わる課題」についての確定版をアンケートと一緒に折り込みまして、それを読んでいただいた上で、2番以降ご回答をいただくというアンケートになっております。

アンケートの2番目ですけれども、「国立市の生涯学習に関わる課題」についてのご意見、ご提案などということで、まず社会教育委員の会から挙げました課題についてご意見があれば、具体的な番号を挙げていただいた上でご意見を頂戴したいと思っております。

ページをおめくりいただきまして2ページ目でございますが、2-2といたしまして「国立市の生涯学習に関わる課題」の項目の中から、ご自身が所属されている団体の中でも課題と感じている項目があれば、項目をご選択の上、理由も含めてご回答くださいという設問を用意しております。

続きまして、3番といたしまして、「国立市の生涯学習に関わる課題」で挙げた課題以外について、団体のご活動の中で課題となっていることで付け加えたほうが良いと思うものがあればご回答ください。社会教育委員の会の中で課題として挙げたもので漏れがあったら、補強していきたいというお話がありましたので、そういったご意見に基づいてこの設問をご用意させていただいております。

3ページ目に移りまして、その他、ご意見・ご提案などということで、自由に書いていただく欄を設けまして、最後に5番といたしまして、団体名、名前と連絡先を書くようなアンケートを案として作成いたしました。

アンケート（案）についての説明は以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。このようにアンケート（案）として示させていただきました。何か修正すべき点はございますでしょうか。

事務局 もしわかりにくかったら補足させていただきますが、1ページ目の設問の2-1は、社会教育委員として挙げた課題について、具体的にどう思うのかというご意見をいただきたいというものでありまして、2ページ目の3番については、社会教育委員として挙げた課題以外に課題として感じるものを新たに書いていただきたいという設問でございます。

補足は以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。2については本委員の皆様でまとめた課題ということで、3はそれ以外のものということになります。

倉持委員 2-1と2-2は何が違うのですか。

事務局 2-1につきましては、社会教育委員として挙げた課題について、目について項目についてご意見を頂戴したいという項目になっておりまして、2-2につきましては、課題の中でより自分の団体でもこの課題は共感、共感と言ったらちょっと表現は違うのかもしれないですが、共感できるものを挙げていただきたいという項目になっています。

2-1については、読んでいただいた中で、ここでこういうふうな課題が挙げられているけれども、ちょっと違うねですとか書いてもらうようなところになりますし、2-2についてはうちの団体でもそう思うよというところ、ちょっと表現がわかりにくかったですか。

倉持委員 2-1が批判的意見で、2-2が共感的意見という意味ですか。

事務局 批判に限ったことではないのですけれども、読んでいただいた中で目についたものについてご意見を伺いたい。

倉持委員 2-2は？

事務局 2-2については、人気投票ではないのですけれども、社会教育委員として挙げた課題の中で、各団体がより感じている課題を集めたいということを考えました。

柳田議長 2-1のほうですけれども、課題の確定にあたり、これまでこの会でまとめた課題について、意見を伺うということになるのでしょうか。例えば1の(2)で情報の発信力を強化することとなっていますけれども、いや、強化はされていると思いますよみたいな感じですね。

川廷委員 1行だけでも書いてあれば、その中で共感しているのかどうなのかわかって、アンケートって、一目見て何を書けばいいかというのがわからないと、すごく難しいなと思ってしまうので、できるだけわかりやすい形にさせていただいて、何か意見があるものを書いたら、その意見からこれはこっちに該当するというのは、集計するときに考えるという形でもいいのかと思いました。

柳田議長 ありがとうございます。分けたほうがわかりやすいのではないかとということで、このように分けさせていただいております。そうしますと、2-1、2-2は一緒にしてしまっ、タイトルのところですか。

倉持委員 課題の中から課題と感じられるって、課題の課題みたいな位置づけで、課題がぐるぐるして、何をあらわしているかわからないのも1つの原因だと思うのですけれども、先ほどの説明ですと、2-2のほうは重点課題のようなことを見つけ出したいという意図があるのですか。

事務局 そうです。当初、議長との話の中で課題として挙げました各項目について、そう思うか、そう思わないかで5点評価をつけてもらって、そうすると各項目の、人気投票ではないのですけれども、よりよく思うものを抽出できるのではないかと、結果、重点施策につなげることができるのではないかと話になったのですけれども、各課題についてトーンが結構ばらばらになっていますので、数値化するのが難しいだろうとなりまして、それをつくったのが2-2の項目。

倉持委員 「○のついた数字の中から」という意味もよくわからないのですけれども、これは？

事務局 すみません。括弧の間違いでして、資料2、後の資料になるのですけれども、1枚目をめくっていただくと、大項目など1番、2番とかあるのですけ

れども、その中で（１）何たらかんたら、（２）何たらかんたらというのが結構ありまして、例えば（２）について、うちの団体でもこれはすごく課題として感じられているなというのがありましたら、その中から選んでいただいて、（２）の団体でもこういうことからこういうふうに感じられるといったことを書いていただきたく、この項目をつくってみました。

倉持委員 これって、例えば４０項目からそれを選ぶのかという議論は別のものとして、今ここに４０以上ありますよね、括弧というのが。そこから選ばせるということ自体の是非は一旦置いておくにしても、より重要だと思うことを選んでいただくということ自体は、２－１とは違う意図というのはあるように思います。課題という言い方にしないのは、わかりやすさということでしょうと、挙げられた項目の中でより重要だと。既団体、あるいは新たな団体、回答者がより大事だと思うものを３つ選んでください、その理由を書いてくださいみたいなこともあり得るかと思いました。

柳田議長 ありがとうございます。２－２は、先ほど倉持先生もおっしゃっていたのですが、重点課題という、順位づけをする訳ではないのですけれども、重点施策に向けて、さらにピックアップしやすい、まとめやすいというところでこのようにしていますが、４０から選択することは難しいのではないかと。特に関心のある団体が重要だと思うことというのと、ここでは３つになりますけれども、３つ選んで、選んだ理由も書いていただくというご意見が出ておりますが、いかがでしょうか。

事務局 表現についてはもう一度確認させていただいて、あと個人向けにも修正するところもございますので、そういうところを読ませていただいて、修正させていただきますけれども、２－１も２－２も両方併存する方針ということでしょうか。

田中委員 私、ちょっと難しいなと思っていることなのですが、課題を読んでご意見があれば、書いてくださいという聞き方がちょっと入りにくいかなと思っていて、今、倉持先生がおっしゃったように、まさにそうだと思うものを例えば３つなり５つ選んで、それについて書いてくださいと言われたほうが、最初読んでいて、うんうんと自分が共感できることであれば、なるほど、このところでは意見が出てくるかもしれない。ざあっと読んで、意見を書いてくれと言われても、そこをピックアップするだけでちょっととまっちゃうかなという気がしました。

なので、最初は納得できるか、共感できるかわかりませんが、この課題の中で重要だと思われるものに○をつけて、その理由を書いてくださいとか、具体的にそういう流れをつくっていただけると回答しやすいのかなとちょっと感じました。これは１と２をどうやって書き分けていくかわからないと。

もう一つですが、つまりこの書き方だと、個人と団体というふうな意見を求められているような気がするのですが、最初のところは個人的な意見を書き、次のところは団体としてというふうな発想を切りかえなきゃいけないので、そこがすごく難しいかなという気もしました。もし気になるとか、共感できるとか、ここにはそのとおりだと思うということも団体としてなのか、個人なのかということ振られると、そこで足がとまってしまうというか、どっちかではだめでしょうか。

柳田議長 アンケートを団体に出す場合は、団体としての考えというものが必要になってくるのではないかと思います。委員の皆様方が基本的には団体という形でこのアンケート調査を行うということですので、基本的には自分がかかわっている活動の中でのことになるのでしょうか。

事務局 団体として書くとなると、ハードルが上がってしまうというか、書きにくい、例えば川廷さんが図書館協議会として回答するとなりましたら、少し書きにくくなってしまふところはあるのでしょうか。

川廷委員 書いたときに、例えば私が書いたとしますよね。図書館協議会は2カ月に1回なので、多分会で確認するという事はなかなか難しいと思うので、会長さんのほうにどうでしょうかと確認する形になるのではないかと思います。これは私が書く訳ではないですけども、例としてはそうなるので、図書館協議会として生涯学習の計画に対して意見が言える部分って、図書館に関する部分は意見として言えると思うんですけども、それ以外については団体としてなかなか意見が難しいかと思ひます。

柳田議長 そうしますと、団体としての活動を踏まえて、個人としてという形になる。

川廷委員 そういう形です。

事務局 議長とも最後、相談させていただきますけれども、議長がおっしゃられたように、ご自身の団体としての活動をイメージしながらお答えくださいぐらいのほうが、個人として書いてくださいというぐらいのほうがよろしいでしょうか。

倉持委員 でも、今回広くアンケートをとっている訳ではないので、組織をベースに選んでいるものなので、基本的には団体の立場として書いていただくのがベースになるのではないか。実際は皆様の集めていただいたり、声をかけていただいた方がどういう手続をとるかって、川廷さんのように、例えばちゃんと委員長に見てもらおうとか、人によってはタイミングよく委員会をやるから、そこで意見を出し合おうとか、それでは足りないから、会長の独断でとか、いろいろあると思うんですけども、ベースは団体としてという、でもあんまりそこを強く、会を代表するような意見を言わさなきゃいけないのではないかみたいなのがご負担かと思ひます。

田中委員 特に団体の活動をベースにしてというと、答えられる重点項目がそこで既に狭まっちゃうので、個人だったら、例えば親の顔であるとか、働く者の顔であるとか、地域活動の顔であるとか、いろいろなバージョンを持っていますよね。それで、全部に対応できる意見が出てくると思うんですけども、例えば福祉のことをやっている団体としてだったら、福祉のところにはしか答えができなくなっちゃう可能性はありませんか。極端な例ですけども、自分の団体の活動をベースにしてというと、重点項目を選ぶときにも狭まっちゃうような気がしました、今。

倉持委員 私は団体はそれでもいいかなというか、だから団体の選択というのが大事かなと。その団体が福祉なら福祉の視点、あるいは図書館なら図書館の視点であることにむしろ意味があるかなとも思ひ、私たちが気づかないような

それぞれの活動なり、関心ベースでご意見を、まんべんなくではないかもしれないけれども、いただくことにも意味があるかなとも思いますが、難しいですね。

柳田議長 今回のアンケートは、これまで出した課題以外で、こちらが見えなかったものを補足するという目的もございます。例えば福祉のことであれば、こちらが見えてなかったところは、課題として浮き彫りとなることで重点施策のあり方を示す上では重要なことの一つなのではないかとも思います。その中でおそらく個人的なご意見は入ってくると思うのですが、いかがでしょうか。

その団体というものをピックアップしてきている訳ですので、さらにこちらが見えない部分、足りなかった部分というのは抜き出したいということが目的である訳です。そうしますと、できる限り団体の立場として、課題というものを見ていただきたいという方向にしていきたいと思うのですが、いかがでしょうか。

田中委員 折衷案で、そうすると最初にはあなたが属している団体の活動をベースにして、この中で重要だと思われる項目について3つピックアップして理由を述べて、なぜ重要項目なのか、その次にそれ以外に個人の意見で、ほかにも共感または特に課題だと思うことがあれば述べてくださいという、団体であるベースと、それから個人的にもフォローしたい項目がその方があれば、それは後に持っていく。団体のほうが重要であれば団体を先に持ってきて、それ以外の漏れたものは書いていただく。そして、さらにこの中にない漏れたものを書いていただくという、流れとしてはそういう流れはいかがでしょうか。

柳田議長 いかがでしょうか。折衷案ということで。

田中委員 私が回答するときにはわかりやすく回答できるにはストーリーが要るので、団体としてこう見て、でもここは問題だなと個人で思うところは理由を書いておいて、そこで固まったところでさらに新しいアイデアをいただけるということ。

柳田議長 今、田中委員からご提案がございました。そうしますと、2-1が団体の立場としてということで、2-2が個人的な立場として重要だと思うものを3つなり挙げて、その理由も答えてくださいということで、3のところ、この課題以外に課題と思うこと、あるいはそうでないところ、これは違うのではないかというご意見を自由に書いていただくということですが、いかがでしょうか。

坂上委員 個人の部分というのが付加されて返ってくるのをより有効に分析しようとする、本人の属性というのですか、ある程度年齢とか家族構成、学齢期の子どもがいるとか、孫がいるとかという背景をある程度書いていただいたほうが、その後の分析がより有効になるような気がするのですけれども、ただ、それを団体の代表の方にどこまで要求できるかという問題はありますけれども、後のことを考えると、そういうことはやっておいたほうが良いような気がするのですけれども、いかがなものなんでしょうか。

柳田議長 ありがとうございます。要するに年齢であったり、男女ということで

もおそらく変わってくる場所もあるかと思ひます。今、坂上委員からそのようご提案をいただいておりますが、後々これを出すときに男性、女性というもの、あるいは異なる回答となる可能性もあるかもしれない。最終的にその部分は全く使わないかもしれないですし、もし必要だというときには、とっておけばよかったということになりかねないということですね。

坂上委員 そんなに大規模なアンケートではないことを考えると、どれだけ統計的に有意な傾向が読めるか、特にこういうふう自由記述式だと、いろいろなことが列挙されてまとまる形になることも考えられるので、ひょっとしたらそこまでやる必要もないのかもしれないと思ひたのですが、その辺は専門家でないので、自信があつて言っている訳ではありません

柳田議長 倉持先生、いかがでしょうか。

倉持委員 難しいですね。団体か個人かというテーマもものすごく難しいし、確かに何うなら、年代ぐらいは知りたひ。でも、それは個人に聞くならそうなりますよねということだし、判断がつかない。難しいですね。団体で聞いても、個人の意見が出てもちろん構わないし、団体の中での立場というものもあると思ひますので、回答のしやすさ、どんなにお渡ししても返つてこないと仕方ないので、どうですかね。

柳田議長 2-1、2-2は、個人としてというところもある訳です。かといつてかなり若い世代に聞くという、今回そのあたりはあまり考えられてないので、どちらかという年齢が高いほうになっていくのかなと。私は年齢は必要ないのかなと思ひたりもしています。

倉持委員 むしろ団体とか個人を文言の中からとつて、最初に団体について多少項目は聞かれているので、団体として聞かれているのかなという雰囲気を出しつつも、実際はお答えになれる方の捉え方でお答えいただくというふうにするというのはだめですか。どうですかね。

柳田議長 今の案は、表記の件についてご自身が活動の中で感じていることを下記の項目にご記入をお願いしますということですね。

倉持委員 ここはいいですよ。例えば2-2のところ、ご自身が所属されている団体の中でとか、3のところ、団体のご活動の中でと書いてあるところを団体というのをとつてしまえば。ただ、最初に、1番で団体についてと書いて。どうですか、田中さん。かえつて混乱しますか。

田中委員 1つにするということですよ。1項目だけということですから。違うのですか。

倉持委員 2-2をどういうふう直すのかわからないのですけれども、いずれにしる質問項目そのものの中の団体としてとか、団体の中でとかという文言をとつてしまふ。

田中委員 そうすると、2-1と2-2の違いは何でしょうか。

倉持委員 だから、それがどうなるかわからないのですけど。

田中委員 もしこのままでいくのであれば、団体を聞いている訳だから、2-1は団体であるべきだなと私がさっき感じたのはそういう意味なので、さらに個人でいうふうになるのかなと思ったので、この流れでいうと、2-2が唐突になってしまうのかなというふうに感じますので、団体をもしとるのであれば、2-1と2-2の違いをわかるように書いていただく。というか、その差はないということになりますよね、団体をとれば。

倉持委員 さっきの説明だと、2-1と2-2は質問の意図に違いがあるようだったので。

柳田議長 2-1、2-2ともに重要な課題だと思って、共感と言ったり、順位づけをしてもらう、抜き出してもらう形で、2-1のほうは団体として、2-2のほうは個人として思うところということだったのかなと。

田中委員 個人というか、その団体の活動をベースにするもの以外でもという意味ですね。だから、その団体が本当にしょうがいのある人たちの福祉のことをやっているのであれば、その活動の中で重要だと思うことをまず挙げてもらって、だからそこにとどまらないもので、例えば別のところで感じていることで重要だと思うものを挙げていくという流れなのかなと思ったのです。

今のこのままだと、1は団体という形でいいのかなと思って、後ろのほうは。団体と個人というよりは、その活動をベースにしたものをまず挙げていただいて、そこに入らないものを次に挙げていただいてもいいのか。2つに分けるのであればです。1つでいいのなら1つでいいと思います。2つに分けた理由が納得してない感じ。

柳田議長 そうしますと、2-1は「国立市の生涯学習に関わる課題」について、ご自身の活動の中で課題と感じられている項目を挙げてくださいという形になるのですね。

田中委員 だから、1と2をひっくり返せば。

柳田議長 団体の中でという意味ですね。1として課題と感じているものがあれば、項目をあげてくださいとして、2のほうは、課題への意見についてお伺いする。ひっくり返すということですね。

田中委員 この案の文言ではなくて、もうちょっとわかりやすく分けていただきたいと思っています。質問で、倉持先生は何に引っかかっているか、今、私のみ込めてないものですか。

倉持委員 私も自分でもよくわからない。結局何を質問されているかわからないから。わからないですよ、この1番、2番が。あと、団体か個人かということにどれだけこだわればいいのかもわからないので、私も話しているうちにぐるぐるしてきて、論点が見えなくなってきちゃったので。

柳田議長 2-1は、この課題について、ご自身の団体でも課題と感じているものに理由をつけて選んでください。2-2は、そのほか課題と思うものについて選んでいただいて、理由を書いてもらうということですね。この後、課題についても触れていかなければなりません。

事務局 今のご意見をもとに議長預かりにさせていただいて、また事務局と相談させていただいてもよろしいでしょうか。

柳田議長 次回では遅いので、もう一度議事録を読ませていただいて、こちらで修正した案をメールで送る形でよろしいですか。それで、ご確認いただいた上で、アンケートの案をとるという形にしたいと思います。メール上の協議という形になってしまいますが、こちらで預からせていただいてよろしいでしょうか。

事務局 見ていただく期間が非常に短くなってしまうということもあわせて、ご了解いただけると助かります。ありがとうございます。

柳田議長 ありがとうございます。今後の流れについて、事務局で再度ご確認をお願いいたします。

事務局 はい。アンケートについていろいろ宿題などありますので、再度確認させていただきます。

まず、6月4日までに、本日ご発言のなかった送付団体に送る場合は事務局までメールなりでご一報ください。あと、郵送で送りたいという団体につきましても、6月4日までにご連絡をお願いいたします。あと、今お話に出ましたアンケートの修正については、事務局から案を修正したものをメールでお示ししますので、なるべく早くご返信いただければと思います。6月8日までに事務局のほうからアンケートの確定したものと依頼文ですとか、この後、議論いただきます課題について確定したものを送付しますので、郵送以外のメールですとか手渡しについては、6月8日からなるべく早目にアンケート依頼していただければと思います。

取り急ぎは以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。そのような形にさせていただきますので、ご協力のほど、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、「国立市の生涯学習に関わる課題」については、委員の皆様の修正版を反映したものとということになります。このことについて事務局よりご説明をお願いいたします。

事務局 では、お手元に資料2をご準備いただけますでしょうか。前回の会議を受けまして、委員の皆様に課題の修正を出していただきました。4名の委員の皆様からご修正いただいた内容を取りまとめたものが資料2になります。表記が若干見にくいものとなっておりますけれども、修正の表現方法についてご説明申し上げます。

①としまして、2名以上の意見が同じ箇所重複しているところ、また重要な箇所で議論をいただきたいところについて、本文中の文字が赤字になっております。それに対しまして、意見が競合していないところ、1名の委員のみのご指摘をいただいているところでご意見があれば頂戴したいというところについては緑で表示をしております。3番のように灰色のラインが引張ってあるものについては、ご指摘のあった箇所にコメントを表示しております。右側のコメント【事務局1】となっているものについて、委員のご指摘の意図というところでご意見を記載しております。

赤字のものについては修正前の箇所に表示をしております。緑のところ

については特に意見が集まっている訳ではありませんので、移動先に表示している形になります。

以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。ただいま事務局よりご説明があったとおり、緑の箇所は読んでいただいて、間違い等がなければ、このまま確定をしたいと思います。まず、緑の部分で何かございますでしょうか。

川廷委員 1番の①の緑のところ、私はその前にあったものをそのままそこに入れたのですけれども、太田先生のほうから「とその方法、相談」を削除とあるので、削除していただいても結構だと思います。

柳田議長 ありがとうございます。1の必要な人に届けること、情報の整理・発信とその方法、活用や相談の「と方法、活用や相談」までを削除ということですね。

そのほか何かご意見、修正はございますでしょうか。

田中委員 これはこのままアンケートにつけるレベルではなくて、ここをもう1段階文言整理する時間はありますか。例えば言葉の表現として、提案になっているところと問題をそのまま書いてあるところとばらばらになっているので、アンケートを読む人はとても混乱しちゃうと思うので、問題を羅列していくのか、あるいは提案の前の段階の問題に戻すのか、そろえたほうが良いと思いました。申し訳ありません、今ごろで。

例えばこれは削除してもいいのですけれども、私の書いてあるところは1の(2)ですけれども、情報の発信力の強化というのは提案なので、もしこれを課題にすれば、情報の発信力が弱いという表現になります。このまま入れればですけども。そういうことを全部整理したほうが良いかなと思いました。何々に欠けるとか、活用していないとか、そういうことは課題だと思うので、そのままでもいいと思うのですけれども、提案型のところとか、こうしたほうが良いというところは、文言の語尾を変えたほうが良いかと思いません。あと、文章が長過ぎるところを少し整理したほうが良いです。

柳田議長 今、ご意見が出されておりますけれども、提案型ではなく、課題そのものを出すか、統一したほうが良いかということですのでけれども、その前に、まず今緑のところがありますので、緑のところは特になければ、このような形で載せていくということでもよろしいでしょうか。では、緑は入れるということでもよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 では、そのようにさせていただきます。

今、田中委員からもお話がありました提案型と、課題が混在しているということで、どちらかに統一したほうが良いのではないかとことです。

倉持委員 おっしゃるように、例えば大きな2番の②の高齢者のところは提案型になっていて、逆にほかの部分は全部課題として出されていますよね。だけど、2ページ以降は課題というよりは、主義とか主張の部分が出てきたりして、バランス感覚が難しい。でも、短時間でできるようなことではないのかもしれない。表現を整える努力をするのは確かに必要なこと。見ていただく方

への伝えやすさという意味ではあるなど。おっしゃるとおりだと思います。

柳田議長 ありがとうございます。そうしますと、この先、時間があまりないので、今おっしゃっていただいたことを踏まえて、赤の部分も含めまして、倉持先生のご協力をいただきたいのですが、私と倉持先生で早急に整理させていただいて、こちらメールという形になってしまいますが。

倉持委員 どちらがいいのですか。課題型がいいか、提案型がいいか、そのどちら方向かというのをいただけると直しやすいです。

柳田議長 いかがでしょうか。

田中委員 例えば2の(18)で太田先生の長い3行が最後にありますけれども、それも課題にしないということですか。

倉持委員 だから、例えばさっきの1ページ目の高齢者のところでいうと、(9)の「高齢化対策を充実していくこと」というのを、「高齢化対策が不十分」というふうに直すのですよね。

田中委員 そうです。

倉持委員 そうなっていくと。

田中委員 それもありますし、もし修正していただけるなら、多分同じことを言っているのが入っていることがあるので、例えば1もそうなのですが、発信力のこととダブっているところがあるので、それは切っていただいたほうが。さっきの話に戻りますけれども、40が多いです。なので、ダブっているところは容赦なく切っていただいているのではないかと。

倉持委員 繰り返し、繰り返しというところは1つにまとめて、課題の形であらわす。

川廷委員 それと、これはアンケートに出すものとしたら、会として出すので、委員の名前というの也不要ではないのでしょうか。

柳田議長 そうですね。委員の名前ですね。今回、こちらで出どころがわかったほうがコメント等を必要とする場合に必要だということで、載せさせていただいているということです。課題という形で、もう1回整理をさせていただくということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 では、その方向で、こちらからまた改めて案を出させていただきます。では、課題については、一旦こちらで預らせていただいているということによろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

柳田議長 ありがとうございます。

そうしますと、時間もちょっと過ぎてしまいましたが、次回日程等の確認を事務局よりお願いします。

事務局 次回でございますが、6月28日火曜日、時間は同じ午後7時から、場所は市役所1階の東臨時事務室といたしまして、東側の入り口を入れてすぐ左側です。警備員のガラス窓がある向かいに扉がございます、そこを入れていただいたところになります。いつもと場所が違いますので、お間違えないようお願いいたします。
以上でございます。

柳田議長 ありがとうございます。今回は議長預かりが多くなってしまいましたが、いろいろとご審議いただきましてありがとうございます。長時間にわたりありがとうございます。
それでは、会を閉じさせていただきたいと思えます。どうもありがとうございました。

— 了 —